

令和5年度 体験活動普及啓発事業
地域リーダーのための養成事業（兼ボランティア養成研修）

- [主 催] 国立曽爾青少年自然の家
- [期 日] 令和5年5月13日（土）～14日（日）
- [対 象 者] ボランティア活動や青少年教育に興味があるもの（高校生以上）
- [参加/募集] 9名／45名
- [講 師] 山崎清治氏（NPO 法人 生涯学習サポート兵庫）
蓬田高正氏（天理大学体育学部准教授）
- [担 当] 福島茂樹（企画指導専門職）
三木智拓（企画指導専門職）
菱川裕輝（事業推進係員）



1 趣 旨

地域の子どもを支援するために求められる知識・技能を習得するとともに、当施設の教育事業や研修支援等への運営・指導補助などを担う人材を育成する。

2 ねらい

- ①豊かな自然の中で、活動する意義、ボランティア活動の内容や役割、対象者等について理解し、活動の楽しさを体験する。
- ②ボランティアとして必要となる知識・技能を習得する。
- ③青少年教育として行われる事業やその運営方法について理解する。

3 プログラム展開

1日目	10:15	10:30	11:45	12:30	15:40	19:00	20:00	20:30	22:00
	開会式	講義① 「青少年自然の家を知ろう」	昼食	講義② 「安全管理」	実技 「夕食を作ろう」	入浴	キャンドル ファイヤー	講義③ 「曽爾のボランティア活動を知ろう」	就寝
2日目	6:30	7:30	9:00	10:40	11:50	12:40	14:40	15:00	
	起床	朝食	講義④ 「自然体験と子どもへのサポートを学ぼう」	講義④ 「ボランティア活動に必要なことを知ろう」	昼食	講義⑤ 「ボランティア活動の意義」	閉会式	解散	

4 活動の様子



5 まとめ（ねらいに対する参加者の感想、ねらいに対するアンケート結果）

- ・これから参加するときに、どんなことを心がけるのか、どうやってよりよいものにするのか考えながら、良い経験にしたいと思います。
- ・「かつてお世話になった施設で、子どもの育成に貢献したいから。」と、動機や理由の具体化ができた。
- ・ボランティアについてある程度理解することができた。今後ボランティア活動を通して、今回学んだことを活かしていけたらよいと思います。